

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年4月4日

事業所名 ぐつどたいむ

環境・体制整備	1	2	3	4	5	6	7	8	
	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	職員の配置数は適切である	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	この自己評価の結果を、事業所の全報やホームページ等で公開している	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	
	○	○	○	○	○	○	○	○	
業務改善	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		今年度は3月頃に保護者アンケートを実施				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		全児童のアセスメントシートに加え、就業前に各日の利用児童のアセスメントを確認することをやっている				パート職員にも情報共有の強化
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎月活動会議を事業所内で開催				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎月活動会議を事業所内で開催				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		毎月児童毎の個別支援会議(振り返り会議)を実施				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		毎月児童毎の個別支援会議(振り返り会議)を実施				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		常勤職員とパート職員を含めた申し送り会議を就業前と就業後に毎日行っている				引継ぎ重点ノートを作成し、日々の変化や注意点をノートに記載して周知を行っている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		常勤職員とパート職員を含めた申し送り会議を就業前と就業後に毎日行っている				引継ぎ重点ノートを作成し、日々の変化や注意点をノートに記載して周知を行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		活動記録を正しくとり、月単位での個別支援会議(振り返り会議)に活用している				日々の活動記録は当日の全スタッフが加筆を行い、様々な人の視点で構成されたものになっている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の具置しの必要性を判断している	○		毎月児童毎の個別支援会議(振り返り会議)を実施				月に1回児童の変化や課題、成長を捉えていけるようにしている
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○							

課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標

20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況が精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		サービス担当者会議には積極的に参加を行っている	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整・送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>		学校からの送迎時の担任との申し送りは強化し、個別での話し合いが必要な場合には電話または会議の日を設定している	
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	該当者なし	
23	特学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<input type="radio"/>		新1年生は保育所等の先生と連携を取り、園へ該当児モニタリングを行っている	
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ぐっだたいむは小学生対象のため該当者なし	
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>		必要に応じて相談を行っている	
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>		放課後支援部会、放課後プロジェクト、南部デイ集まり会に所属し、各会議に参加している	
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>			保護者から何でも相談して頂けるように信頼関係の構築、スタッフの知識の向上をしていく
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	直接的なペアレント・トレーニングは行っていない	
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>			
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>			
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>			
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>			
35	個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>			
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>			
37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		

関係機関や保護者との連携

保護者への説明責任等

38	緊急時対応でマニュアル、防犯マニュアル、感染症対応でマニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>		全スタッフが見やすくいつでも確認できるように事務室に掲示している	保護者へ各種マニュアルがある事は周知しているが、マニュアル自体の配布等は行っていない。必要であれば事業所にて周知できると伝えている。
39	非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>		長期休暇時に避難訓練を実施	定期的な訓練の実施と職員の防災意識の向上
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>		事業所内研修、外部研修への積極参加	
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、取戻後等マニュアル又は計画に記載している	<input type="radio"/>	○	現状該当者なし	
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>		アセスメントにアレルギー項目を記載し、保護者から聞き取りを行っている。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>		毎日就業後の会議において、全スタッフでヒヤリハット事項を確認し、事例をまとめている	
非常時等の対応					

障害福祉サービス共通評価基準 概評〔各シート共通〕

○概評

- ①非該当とした項目（放課後等デイサービス、児童発達支援については「いいえ」とした項目）の説明、②独自に必要なと思われる評価項目等、③項目評価を通じて気づいた点などを記入してください。
- ③項目『11』に関して“楽しさ”を重視しつつも利用児童の成長や発達にポイントとなる活動を設定していく。
- ③項目『15と16』に関して常勤職員だけでなく、パートスタッフを含めた事業所全スタッフで情報共有の強化と支援につながる知識向上を目指していく。
- ③項目『21』に関して学校との連携において、まずは担任との信頼関係の構築を図り、何かあってからではなく、いつでも日頃からの連携に努める。また、場合によっては会議の日を設けたりしていきたい。

③項目『23』に関して就学前の関係機関や相談支援事業所とのつながりを重視し、情報共有の強化を図る。

③項目『39』に関して今年度も定期的な訓練を計画・実施し、防災意識の向上を図る。

○サービスの質の向上に向けて取り組む課題

前回までの評価において、サービスの質の向上に向け取り組む課題を設定している場合はその内容と進捗状況を、また、新たに今回の評価によって今後取り組むべき課題がある場合も、その内容を記入してください。

関連する項目	内容および進捗状況	新規 継続 終了	取り組みの期間 (○年○月から○年○月まで)
8	外部研修への積極参加及び事業所内研修の充実	継続	H31.1月～

【参考様式】

サービス改善計画書

策定日：令和4年4月1日

事業・サービス名：放課後等子イサービス

施設・事業所名：ぐっどたいむ

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備 考 (必要な予算等)
8	○	研修内容や外部研修機会の更なる向上	事業所内研修においては、研修内容の策定及び実施を行う。外部研修に関しては、スタッフへの周知・提案を行い、積極的な参加を行っていく。	H31.1月～	山元	

保護者等からの放課後等サービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年4月4日

事業所名 ぐっどたいむ

保護者等数(児童数) 24 回収数 14 割合 58 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	3			<ul style="list-style-type: none"> 直接子どもがいる時間帯に見る事がないので判断できない。 直接子どもがいる時間帯に見る事がないので判断できない。 分らない。
2	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1			<ul style="list-style-type: none"> 1 正社員(常勤)⇒5名(うち常勤/パート社員1名) 1 保育資格(重複あり) 1 介護福祉士⇒1名 1 保育士、幼稚園教諭⇒3名 1 介護職員初任者研修⇒2名 1 社会福祉士⇒1名 1 小学校教諭⇒1名 1 行動援護研修⇒1名 1 福祉、児童、教育関係の経験年数 1 5年以上⇒4名 1 1年以上3年未満⇒1名 1 非常勤職員⇒3名
3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	6			<ul style="list-style-type: none"> 1 現状のぐっどたいむのスタッフ数と詳細です。 1 専門性に関しては、日々研修する必要があると感じ、外部研修や社内研修の積極的な開催及び参加していきたいと考えております。 1 R4年度は言語聴覚士保有者が入社いたしました。
4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等サービス又社画*1が作成されているか	14				
5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	1			<ul style="list-style-type: none"> 1 ⇒コロナ禍での制限がある中でいかに楽しく活動できるのかを今年度も考えていきます。 1 また活動を通じて子ども達の育ちや成長に繋げていけるような活動を考えたい
6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	5	6	1	
7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14				
8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども発達の状況や課題について共通理解が図れているか	14				
9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14				<ul style="list-style-type: none"> 1 困った事、学校などの話をいつも聞いて頂いている。
10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	5	7	1	<ul style="list-style-type: none"> 1 必要と思わないのでなくとも良い、子ども達の特性が様々で困り感も色々なるので難しいかな。
11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	3		1	
12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1			
13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 1 ⇒活動概要等は毎月のお便り『ぐっどなタイム』便りに記載をしております。 1 HPIに関してはhttp://goodlife-goodtime.com/ となっております。
14	個人情報に十分注意しているか	12	1		1	<ul style="list-style-type: none"> 1 ⇒コロナ関係を含め個人情報の取り扱いには十分配慮を行い対応いたします。
15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	5	1		<ul style="list-style-type: none"> 1 ⇒コロナ時の対策などどのようにされているのか教えて欲しい。 1 ⇒コロナ対策として、は、事業所での過ごしでは各居室で密状態にならないように児童・スタッフの配置、事業所内の換気、手洗い、消毒、検温、状態観察を行っております。 1 また発症時の対応に関しましては、大津市障害福祉課・保健所の指示に従い運営、対応をしております。 1 保護者の方には大変ご不便、ご迷惑をおかけしておりますが、事業所全体での情報共有、支援体制の確保を今年度も行っております。

環境・体制整備
適切な支援の提供

保護者への説明等

非常時等の対応

16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	4	1	
17	子どもは通所を楽しみにしているか	14			
18	事業所の支援に満足しているか	14			

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されること想定されている。

自由記載欄

・いつもありがとうございます。常に共に悩んで下さり相談のつてくれる『ベツ』相談支援事業所ベツどのおかげで色々な事がありますが前向きに歩んでいけることに感謝しています。
⇒ご意見ありがとうございます。今後もご本人、保護者様の立場にたった支援者を意識してまいります。いつでも何でもご相談頂けますよう今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

・いつも手厚い支援をありがとうございます。子どもはベツだいたいむさんに通う事がとても楽しみのようです。今後ともよろしくお願ひいたします。今後も本人達にとって楽しい時間、空間の提供を大切に支援をしていきます。
⇒ご意見ありがとうございます。

・いつもありがとうございます。思春期になっていくので、また違った悩みも増えていくと思います。本人が『自分の想いを出せる場所、人達しうものをしっかりと考えるように支援をよろしくお願ひします。』
⇒ご意見ありがとうございます。何でも安心して相談できるという空気感や安心感、相談していただけたような関係性を大切にしていき、本人らしさを出していただけるように環境づくりや関わり支援を行っていきたくと思います。

・子どもがスタッフさんの事が大好きで通所を楽しみにしている。安全に注意して頂ければ保護者としては特に言う事はありません。これからもよろしくお願ひします。
⇒ご意見ありがとうございます。今後も本人達にとって楽しい時間、空間の提供を大切に支援をしていきます。そしてご意見頂きました通り“安全”という視点を必ず念頭に置いて日々の支援、事業所活動を行っていきます。

○事業所総括○(各カテゴリー毎)

『環境・体制整備』
昨年度と同様でございますが、事業所の環境整備に関しましては、安全に活動ができ、子ども達が快適に過ごすことができるようにしていきたいと考えております。
また体制に関しては、支援内容の向上・子ども達が楽しく通所できるように各スタッフの知識向上が必要だと認識しております。外部研修への参加はもちろ、事業所内での研修も充実していきたいと思ひます。現状は毎月の個別児童会議、全体会議を実施しておりますが、その全体会議にて様々な研修、勉強会を実施していきたいと思ひます。

『適切な支援の提供』

まずはしっかりと子ども達一人一人の様子を捉えた個別支援計画を作成し、事業所の想い、保護者様の想いが相まって反映され、共通認識されたものにしてきたいと思ひます。また、活動内容に関しては楽しい体験から成長できるような活動内容を取り入れていきたいと思ひます。今年度はコロナ禍という事もあり、外出企画が難しい状況でした。活動内容に関しては事業所内で検討を行い、充実した活動ができるようにしていきたいと考えております。

『保護者への説明責任等』

・放課後等デイサービスは保護者様と直接お会いして、帰りの申し込み送りができる点が良い点だと感じております。連絡帳に記載できていなかった様子や通所しての子ども達の様子などを送迎の際にお話しさせていただかなければと感じております。送迎時の申し込み送迎適切に行えるように職員一同、その点を再度確認させていただきます。
保護者様の方でお悩みやお困りごとなどいつでもご相談いただけますと嬉しいです。
また、『相談したい』と保護者様に思ったいいただけると嬉しいですね。事業所を自指していきたくと考えております。
・苦情や要望に関してしまして、随時お受けいたします。迅速にご対応させていただきます。
また、その際や全て事柄において個人情報に最新の注意を払ひご対応いたします。

『非常時等の対応』

・台風はもちろん、地震や火災などの災害時に備えるための訓練及び、準備は大変重要な事と認識しております。従来は、職員には防災訓練研修の参加や消防署の方による講習、子ども達には外活動の際に避難場所及び避難経路の確認が主ではありましたが、今年の夏休みには活動内容に避難訓練を盛り込ませていただきました。実際に事業所から避難する訓練を行わせていただきました。この活動は今後も長期休暇時に定期的に行っていきたいと考えております。また、消防署見学や防災センターなど活動の中で防災体験、経験ができる企画も検討していきたいと考えております。
・各種マニュアルの周知に関しましては、事業所の事務室にございますので、ご面談の際などにお声かけいただけますとご覧いただけますので、よろしくお願ひいたします。

『満足度』

・子ども達の通所への楽しみ、保護者様の事業所への満足という項目が『はい』という欄に○印をいただけるように事業所として各項目の強化をしていきたいと思ひます。

この度は事業所評価アンケートにご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

今回のアンケートにて、たくさんのおりがたいお言葉やご意見を頂戴し、
本当にありがとうございます。アンケートにてご意見いただきました内容に関しましては、事業所スタッフにて共有を行い、今後更なる向上に役立てさせていただきます。

子ども達が楽しく、そして安全に通える事業所となるためにも事業所スタッフの知識向上をはじめ、事業所の環境面、活動内容に関しましてもしっかりと事業所職員間で話し合い、より良い事業所となるように努めていきたいと思います。
末筆ながら、今後とも変わらぬ事業所運営へのご理解、ご協力とご支援のほどお願ひ申し上げます。